

学習指導案の形式（例） 小学校特別活動

学級活動（２）「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」

学級活動（３）「一人一人のキャリア形成と自己実現」 ◇（２）（３）のどちらかを選ぶ。

第○学年○組 学級活動（２）（３）指導案

令和○年○月○日（○）第○校時 ○○教室 指導者 ○○ ○○

1 題材 「○○○○○○○○○○」
ア ○○○○○○○○○○○

◇年間指導計画を基に題材を設定する。その題材がどの内容なのかを記号とともに明記する。

2 児童の実態と題材について
（１）児童の実態

◇取り上げる題材の内容と今までに取り組んできたこととの関連、題材と児童との関係等について書く。

（２）題材設定の理由

◇児童が活動したり、意思決定したりする上で、教師が何をどのように工夫したり、配慮したりするか等について書く。
◇児童が自己の課題として真剣に捉え、目標や方法等を意思決定できるように、学級生活における児童の実態からこの題材を取り上げる必要性等、教師の題材観、指導観等について書く。
◇必要に応じて、各教科、総合的な学習の時間との関連を図った計画的な指導や発達段階に即した系統的な指導に関わる配慮事項等について書く。

3 第○学年及び第○学年の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
例：～理解している。 ～身に付けている。	例：～実践している。	例：～しようとしている。
◇評価の観点、学校の実態、学習指導要領の特別活動の目標を踏まえ、各学校で設定する。1時間の題材ごとに評価規準を設定するのではなく、各学校で設定した評価の観点に基づき、学級活動については、発達段階に即して、低・中・高学年ごとに評価規準を設定する。		

4 事前の指導

日時	児童の活動	教師の指導・支援	評価規準及び評価方法
○月 ○日（○）	○例：～に記入する。	○例：～することで、～できるようにする。	[観点]（方法） ○例：～している。 ～しようとしている。
○月 ○日（○）	◇児童の立場で書く。 ◇「調査」「アンケート」等の実施が考えられる。	◇指導者の立場で書く。 準備物や具体的な手だてを書く。	◇事前・本時・事後の中で、どのように評価規準が位置付けられているかが分かるように書く。

5 本時のねらい

例：～することができる。～実践できる。～しようとするすることができる。

◇児童の立場で書く。
◇本時の評価規準との整合を図る。
◇自他との関わりの中で、個人の課題を踏まえ、どのような意思決定ができるようにしたいのかの指導のねらいを端的に書く。

6 本時の展開

	児童の活動	教師の指導・支援	評価規準及び評価方法
導入	1		
	◇児童の立場で書く。	◇指導者の立場で書く。	◇児童の立場で書く。
展開	2		
	◇具体的に書く。 例えば、問題を把握したり、原因を考えたりする活動や、解決方法の工夫や個別の意思決定の場面等を、導入・展開・終末の学習過程に位置付けて書く。	◇児童の活動に沿って、指導・支援の意図、指導方法の工夫等について留意すべきことを具体的に書く。 ・児童が主体的に学習を進めるための手だて ・児童が対話的に学習を進めるための手だて ・児童が学習を深めるための手だて ・児童一人一人の活動状況に応じた手だて 「～する児童に対しては、～について～することによって～できるようにする」等、具体的な指導・支援が分かるように書く。 ・予想される児童の反応 ・資料提示のタイミングや方法 ・効果的な学習方法や学習形態の工夫 ◇児童の活動と教師の指導・支援との関わりを対応させて書く。	◇本時のねらいと整合した評価規準を具体的に書く。「十分満足できる活動の状況」について、抽象的な文言ではなく、実際に評価可能なレベルまで具体化する。 ◇評価の場面は1、2箇所に絞る。 ○例：～している。 [評価の観点] (評価の方法) ◇評価方法の例 ・発言の内容 ・行動の観察 ・ワークシートの記述等
終末			

◎「十分満足できる活動の状況」と判断する児童の姿 例：～している。

◇本時の評価規準に照らして、本時でねらう児童の姿について、想定される児童の発言や記述例等を取り入れながら具体的に書く。なお、ここに挙げる具体的な児童の姿が、どのような指導によって表れるのか等、指導と評価のつながりを意識して書く。

7 事後の指導

日時	児童の活動	教師の指導・支援	評価規準及び評価方法
○月 ○日 (○)	○例：～について振り返る。 ◇児童の立場で書く。	○例：～することで、～できるようにする。 ◇指導者の立場で書く。 準備物や具体的な手だてを書く。	[観点] (方法) ○例：～している。 ～しようとしている。 ◇事前・本時・事後の中で、どのように評価規準が位置付けられているかが分かるように書く。
○月 ○日 (○)	◇本時において意思決定したためあてや取組を振り返る活動等を設定し、児童の活動や教師の指導・支援を具体的に書く。		